

2-4. わが家の避難行動指針

わが家の防災避難マップをつくってみましょう

マイ・タイムラインで災害時に取る行動を決めたら、「わが家の防災避難マップ」をつくってみましょう。自宅から避難する場所までを範囲として、いざというときの避難経路選びなどに役立つマップをつくりましょう。

1. まち歩きで事前の確認をしましょう

河川が近い、急傾斜地が近い、自宅や周囲の建物が老朽化しているなど、わが家・わがまちの条件や状況によって各家庭で警戒するポイントは異なります。地域の特性を確認し、家族で「まち歩き」をして、事前に想定される災害リスクを確認し、具体的な対策を家族で話し合っておきましょう。

こんなところを確認しましょう

- 指定された指定緊急避難場所や指定避難所の確認
- 避難のタイミングや避難ルートの検討
- 避難ルートにある危険箇所（ブロック塀、狭い路地、古い建物など）の確認
- 子どもや高齢者など要配慮者や避難行動要支援者への対応・避難方法の検討
- 在宅避難に備えた飲料水や食料、土のう等の備蓄 など




II. わが家の防災避難マップをつくりましょう

河川が近い、急傾斜地が近い、自宅や周囲の建物が老朽化しているなど、わが家・わがまちの条件や状況によって各家庭で警戒するポイントは異なります。地域の特性を確認し、家族で「まち歩き」をして、事前に想定される災害リスクを確認し、具体的な対策を家族で話し合っておきましょう。

防災マップのつくり方

- ① **マップを準備する**
 - ・自宅周辺から避難場所までの地図を書きましょう。難しい場合はインターネットからダウンロード。
- ② **地域の危険性を把握する**
 - ・ハザードマップで自分の住む地域の危険度を把握しましょう。
- ③ **地図の中の自宅に目印を**
 - ・地図の中の自宅の場所に目立つよう目印をつけます。
- ④ **避難場所や給水所に目印を**
 - ・避難場所や給水所にも目印をつけます。
- ⑤ **避難経路をチェック**
 - ・自宅から避難所へ向かう道をチェックしましょう。
- ⑥ **避難経路の中の危険箇所をチェック**
 - ・ブロック塀・自動販売機・看板
 - ・フタのない側溝やマンホール
 - ・坂道や狭い路地
 - ・崖や倒壊しそうな家屋
 - ・小さな河川
 - ・高圧線が横切っている道
- ⑦ **助けになる場所もチェック**
 - ・ガソリンスタンド
 - ・公衆電話
 - ・コンビニエンスストア
 - ・公共トイレ
 - ・公設消火栓



◎防災マップが出来たら、実際に避難経路を歩いて、自分たちの目で危険箇所を確認し、必要な情報を防災避難マップに追加していきましょう。

わが家の防災避難マップ

わが家のリスク 自分が住んでいる地域で起こりうる災害をイメージしてみましょう。

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>